

「総代幹部研修会」



牧野副庁長挨拶



神尾副会長挨拶

6月20日、総代幹部研修会が熱田神宮会館において県神社庁・県神社総代会の共催で開催され、当日は県内より135名の参加があった。熱田神宮を正式参拝に続き、開講式、神宮遙拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和の後、牧野武彦副庁長より開会の挨拶があり「天皇陛下が宮中でお勤めになる祭には国民のことを第一に思う大御心が込められている。全国の神社はこの大御心を戴いて氏神様のお祭を行うことで日本人の国民性を育てて行くことが大切である。本年は神宮と出雲大社の御遷宮がある節目の年であり、蘇りの年である。今日の研修会を通じて心新たにご奉仕頂きたい」と述べられ、引き続き県神社総代会副会長神尾俊治氏より挨拶があった。



DVD「神宮大麻～お伊勢さま・氏神さまと家庭のまつり」



修了証授与



平野幸子氏



神宮主事三輪和平氏

午前の研修としてDVD「神宮大麻～お伊勢さま・氏神さまと家庭のまつり」上映の後、半田支部長平野幸子氏より講演があった。氏は自らの神職人生を顧みて奉務神社役員・総代、また氏子との関わり合いの中で神社を發展させて来たことを具体例を挙げながら語られた。

昼食後は、「神宮式年遷宮について（遷御の儀に向けて）」と題して、神宮主事三輪和平氏よりの講演があった。氏はなぜ神宮が今の場所に鎮座したか、また遷宮の始まりから第62回の遷宮に至るまでを概観し、更には遷宮により神宮の全てが瑞々しく生まれ変わるまでの様々な過程を詳細に述べられた。

最後に受講者を代表して修了証が名古屋市北区総代会福井保男氏に手渡され、三浦正典教化委員長より挨拶があり、実り深い研修を終えた。